

回 答

団体名（豊能地区子どもの進路を保障する会）

（要望項目）

2. 希望するすべての子どもに高校教育を保障してください。公立高校の募集人員を減らさず、高校進学率を高めてください。定員割れの高校を廃校にしないでください。

（回答）

- 府立学校の配置につきましては、大阪府立学校条例第2条において、「教育の普及及び機会均等を図りつつ、将来の幼児、児童及び生徒の数、入学を志願する者の数の動向、当該府立学校の特色、その学校が所在する地域の特性その他の事情を総合的に勘案し、効果的かつ効率的に配置されるよう努めるものとする。」また「入学を志願する者の数が三年連続して定員に満たない高等学校で、その後も改善する見込みがないと認められるものは、再編整備の対象とする。」と規定しています。
- 府教育委員会としましては、志願者が3年連続して定員に満たない学校については、改善の見込み等について十分見極めながら、再編整備などの対応について検討してまいります。
【高校改革課】
- 大阪府における昼間の高等学校の募集人員については、平成22年11月の大阪府公立高等学校連絡協議会（公私協）において、平成23年度選抜から、従前の公私分担比率（7対3）に基づく受入計画を見直し、公立、私立それぞれが募集人員を設定したうえ、計画進学率等から算出された府内進学予定者数がすべて受入れ可能であることを確認することで合意しています。
- これを受けて、令和8年度の公立高校の募集人員については、令和7年11月4日の公私協において、公私トータルで府内進学予定者数の受入れが可能であることを確認したところです。
- 公立高校の受入れについては、各学校の施設の状況等を踏まえつつ、府内進学予定者数や、これまでの公立全体の受入実績等を勘案して定めていくこととしています。
【高等学校課】

（回答部局課名）

教育庁 教育振興室 高校改革課
教育庁 教育振興室 高等学校課

回 答

団体名（豊能地区子どもの進路を保障する会）

（要望項目）

3. 子どもたちが不本意な高校選択・受験とならないよう進路決定や高校の受験校を、ゆとりをもっていねいに考えられるように、公立および私立高校の入試や合格発表の日程・時期等について配慮してください。

（回答）

- 平成28年度以降の高等学校の入学者選抜制度については、平成26年11月に「大阪府公立高等学校入学者選抜制度改善方針」を決定し、令和8年度選抜については、3月に選抜方針を定め、6月に市町村教育委員会や中学校の校長及び進路指導担当者を対象に説明を行いました。また、10月には実施要項を定め、市町村教育委員会や中学校進路指導担当者などを対象に説明を行いました。
- 今後も、市町村教育委員会、中学校、高等学校等の各方面から御意見をいただきながら、よりよい制度となるよう努めてまいります。【高等学校課】
- 私立高校の入試日程については、本来私立学校が独自に決定するものですが、入試日程の変更については、中学校における教科指導や学校行事等への影響、受験者の負担増等が生じる恐れもあるため、大阪府としては、大阪私立中学校高等学校連合会に対し、慎重に検討するよう要請しているところです。
- また、私立高校の生徒募集が、府県域を越えて行われることを踏まえると、大阪だけでなく、近畿府県の私学団体において、入試日程のあり方について協議がなされることが重要であると認識しており、引き続き大阪私立中学校高等学校連合会に対し、協議がなされるよう働きかけてまいります。【私学課】

（回答部局課名）

教育庁 教育振興室 高等学校課

教育庁 私学課

回 答

団体名（豊能地区子どもの進路を保障する会）

（要望項目）

6. すべての府立高校の学習環境が、現代のニーズに合うよう、施設・設備の充実をはかってください。

（回答）

- 府立高校のトイレ改修については、各校1系統のトイレを、乾式床、洋便器とし、自動洗浄小便器、洗面の自動水栓等の設置を標準として、計画的に実施し、令和3年度で改修を終え、また、令和4年度には、国からの『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』を活用し、(1)便器の洋式化、(2)手洗い設備の自動水栓化を図り、さらに、令和5年度では、同じく国からの『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』に加えて、府単費においても便器の洋式化等に取り組みました。
- また、令和6年度から令和7年度にかけても、引き続き府費を活用してトイレの洋式化を進めております。
- 今後もトイレの改修については、予算の範囲内ではありますが、学校からの要望をお聞きし、個別に検討してまいります。
- 府立高校における空調未設置の特別教室等については、今年度、専門事業者において事業規模や設置範囲、整備手法などの調査を進めているところで、現在、当該調査の中間報告を受け、各特別教室などについて、空調設置の必要性を検討しているところであり、今後、整備方針を決定したうえで、1日でも早い設置に向けて、関係部局と協議を行ってまいります。

（回答部局課名）

教育庁 施設財務課

回 答

団体名（豊能地区子どもの進路を保障する会）

（要望項目）

9. 能勢町の学校連携・一貫教育（旧小中高一貫教育）、箕面東高校のエンパワメントスクール、千里青雲高校については、地域の人たちや子どもたちの声を十分に反映してください。特に、千里青雲高校については、旧少路高校・東豊中高校の歴史を引き継ぐよう配慮してください。また、閉校となった池田北高校の歴史も受け継いでください。

（回答）

- 池田北高校については、事務引継ぎ校である渋谷高校に記念室を整備し、関係資料を保管、展示しています。府内で初めて「音楽コース」を設置するなど、特色づくりを進め、魅力向上に努めてきた同校の教育実践につきましては、府立高校全体としてしっかりと引き継いでまいります。 【高校改革課】
- 能勢町内にある府立能勢高等学校と能勢町立西中学校及び同町立東中学校の3校が、中高一貫教育推進校として国の指定を受け、平成13年度から連携型中高一貫教育の在り方について実践的な研究を進めてきました。府教育委員会では、この間の研究成果を踏まえ、平成16年度より、府立能勢高等学校を総合学科に改編するとともに、連携型中高一貫教育を導入しました。
- この間、能勢地域に設置されている「小中高一貫教育推進委員会」及び各研究部会等との連携を図りながら、保護者等の要望を踏まえ、中高一貫教育を進めてきました。
- 今後も、連携した教育の取組みについて、生徒・保護者・地域の人々に積極的に情報発信するとともに、得られた意見等については、今後の取組みに活かしていけるよう検討していきます。
- 千里青雲高校の正門横には、平成21年3月に、東豊中高校と少路高校の記念碑が並んで設置され、また、記念室を整備し、東豊中高校と少路高校の関係資料を保管、展示しています。
- 府教育庁としても、両校の歴史・伝統が千里青雲高校に引き継がれ、地域からの期待に応えることができる学校となるよう支援していきます。 【高等学校課】

（回答部局課名）

教育庁 教育振興室 高校改革課
教育庁 教育振興室 高等学校課

回 答

団体名（豊能地区子どもの進路を保障する会）

（要望項目）

12. 外国から来た子どもの高校受験ではその国の言葉による受験を認めて、高校教育を保障してください。また、「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜実施校」を豊能地区にも設置してください。

（回答）

- 中国帰国生徒等の入学者選抜については、これまで「海外から帰国した生徒の入学者選抜」における応募資格の緩和を図るとともに受験上の配慮の対象者を拡大してきました。
- 平成 20 年度より、「海外から帰国した生徒の入学者選抜」に志願できる者を「原則として、外国において継続して2年以上在留し、帰国後2年以内の者」とし、海外在留期間を従前の「3年以上」から「2年以上」に改めたところです。
- また、平成 12 年度より、すべての入学者選抜において、学力検査時間の延長を措置された生徒について、作文及び小論文の題意の理解を支援するために、設問のキーワードになる語句について、本人の希望する外国語を併記することとし、さらに、希望する者に対しては、希望する英語以外の外国語の辞書について日本語に対する当該外国語の訳が記載されている辞書と、当該外国語に対する日本語の訳が記載されている辞書の2種類の持ち込みを認めるように改善しました。
- 平成 13 年度入学者選抜からは「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜（「中国等帰国生徒及び外国人生徒入学者選抜」を名称変更。）」を実施し、令和 4 年度選抜には、多部制単位制の柔軟な教育システムを持つ大阪わかば高校を加え、本選抜の実施校を8校としたところです。
- 今後とも、公平性、客観性という入学者選抜の原則を踏まえながら、受験生が普段の実力を十分に発揮できるよう、入学者選抜のあり方について研究を重ねていきます。

（回答部局課名）

教育庁 教育振興室 高等学校課